

看護専門科目	臨床応用専門科目					
看護学科	必修	1 単位	実習	平成30年度	通期	4 年次
科目名	精神看護学実習Ⅱ（医療施設における看護） Psychiatric and Mental Health Nursing Practicum II (Nursing in Healthcare Institutions)					
担当教員	◎高橋里沙 岡本響子 國井由加利					
目的	精神障害をもつ人に関わり、セルフケアの視点でその人の体験、病態や症状、生活上の問題等を統合して理解するとともに、対人関係のプロセスを通して看護援助を行う。また精神科病棟や地域で行われているさまざまな治療的なアプローチを学び、多職種の役割や精神障害をもつ人が利用できる社会資源について知る。					
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 精神障害をもつ人の価値観や人権を尊重しながら関わり、援助関係を築くことができる。 2) 精神障害をもつ人の体験、症状、生活上の問題等を理解することができる 3) 対人関係のプロセスを通して、看護援助を行うことができる。 4) 精神科病棟や地域で行われているさまざまな援助的なアプローチを学び、多職種の役割や、精神障害をもつ人が利用できる社会資源について知ることができる。 5) セルフケアや自立に焦点を当てた具体的な看護援助方法を考えることができる。 					
他科目との関連	精神看護学概論、精神看護学実践論Ⅰ、精神看護学実践論Ⅱ、精神看護学実践論Ⅲ、精神看護学実Ⅰ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	レポート				
	レポート	実習記録				
	その他	実習オリエンテーションを含め全てのプログラムに出席全出席を基本とする（実習時間の4/5以上出席していないと評価の対象にはならない。）、実習態度				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	精神看護学Ⅰ・Ⅱ（南江堂）					
参考資料	精神保健福祉研究会編「我が国の精神保健福祉」、こんなとき私はどうしてきたか(医学書院)、看護のための精神医学(医学書院)、当事者研究の研究(医学書院)、その後の不自由「嵐」のあとを生きる人たち(医学書院)※図書館にあり					
備考 (受講上注意、事前学習等)	精神看護学概論・精神看護学実践論Ⅰ・Ⅱで使用した授業資料を持参する。周りの迷惑になると判断したときは退室を命じることもある。実習オリエンテーションでの注意事項を必ず守ること。					